

# NTT 平内町で通信端末を増設 鳥獣害被害抑止に向け監視力強化

NTTテレコン（東北支店・宮城県仙台市、竹谷金浩 東北支店長）は、青森県平内町における鳥獣害対策の効率化を目的として、同町に監視用通信端末を、新たに7台導入する。これらの端末は今春、同町内の対象エリアに設置する予定だ。

同端末は、檻の作動状況を遠隔で確認できる機能を備えており、現地見回りの負担軽減や捕獲後の迅速な対応が可能にする。

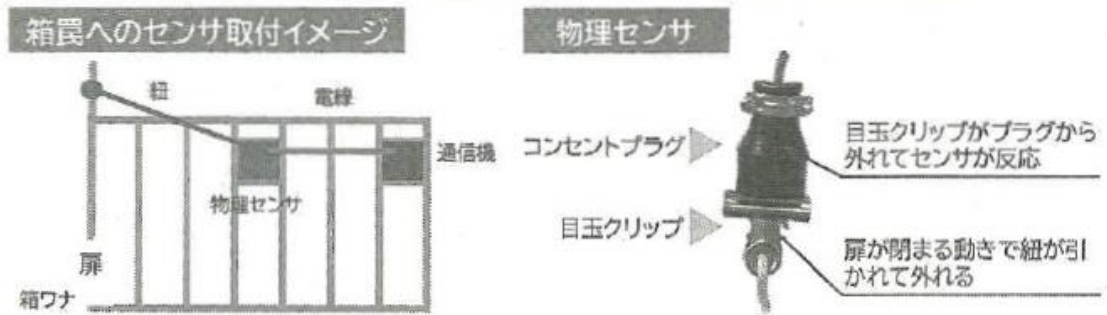
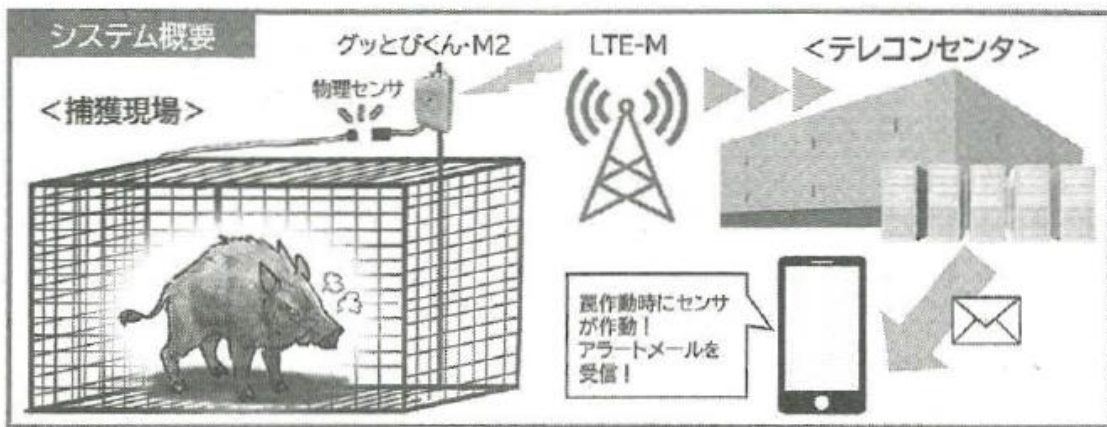
今回の追加導入は、同町で2024年6月から先行導入された同社システムの運用実績により、その有効性が確認されたことを受けて実施されるもの。これにより、鳥獣害対策のさらなる強化が期待される。

近年、熊やイノシシなどによる農作物被害や人身被害のリスクが高まっており、確実かつ安全な捕獲活動が求められている。

しかし従来の捕獲活動では、罠の毎日見回りが必須であり、職員の負担増加や危険地域への接近が避けられないなど課題があった。

同社の檻監視システムは、こうした課題を解決するため、遠隔監視による効率的な運用を実現する。

毎日の現地確認が不要になることから、見回り回数は約50%削減。捕獲状況を事前把握することで不用意な接近を防止できる。入手しやすいコンセントプラグと目玉クリップを採用しているため、メンテナンスが容易であるほか、



誤作動が少なく、リアルタイムで捕獲状況を確認可能であることがメリットだ。

の効率化と安全性向上に貢献し、地域課題の解決に向けたソリューション提供を継続していく考え。

同社は、今後も鳥獣害対策